

減らない年金へ 安倍政治さよなら

日本の針路・命運がかかった選挙投票に行こう！

去る9日、西澤議員は支援者と共にKモール前交差点において、今度の選挙は日本の命運、国民のくらしと平和がかかったとても大切な選挙です」と切り出し、年金だけでは暮らしてゆけない実態が浮き彫りになる中、減り続ける年金か、減らない年金に転換するのか、大争点だ」と訴え。日本共産党の減らない年金へ、高額所得者の保険料率引き上げなど3つの財源案」を詳しく説明。さらに、**「ぞひ消費税10%中止の審判を下そう!!」**戦争しないと誓った憲法9条を守り抜くためにも、必ず投票に行こう」などと訴えま

参院選 21日投票)で問われているもの

ファシズムと戦争への道 許すな

ジャーナリストの斎藤貴男さんの投稿記事を抜粋で紹介しします。小見出しは著者および編集者)

◇ きわめて重大な選挙である。

消費税について、斎藤さんは社会的弱者から吸い上げ 富裕層や巨大な資本に移転するための税制だ」と断じます。これ以上の増税は：中小・小規模事業者の撲滅と国民生活の破壊を意味することに

なる」と痛烈に批判。「社会保障の充実や」安定化 の財源だ、という政府のアナウンスなど、詐術 さじゆつ)以外の何物でもありはしない。」それは、最近の 翌後2

000万円問題』の実態と顛末 てんまつ)によっても、私たちはつくづく思い知らされ

たはずである。」
沖繩の基地問題は、日本国民がどこまで人でもなしであり続けるのかどうか、というリトマス試験紙だ。辺野古に米海兵隊の新基地が完成し、稼働を始めたれば、あの美しい琉球は、従来にも増して、米国の戦争とともにある島々にされていく。」

ノ一の意思表示を

「二朝一々に、解決できる話であるはずもない。それでも、機会あるたびに明確な意思表示を重ねていくことができないければ、私たちは魂を持った人間と

しての資格を失う。」
喫緊 きつきん)の重要課題として憲法改正問題がある。安倍晋三政権あるいは自民

党の思惑通りにされたら最後、この国は再びファシズムに陥り、絶えず米国の戦争につき従う戦時体制が完成されるであろう。」

人間が人間であるためにには、どうしても負けるられない選挙があるのである。」
安倍首相は2020年中的新憲法施行を公言している。今回の参議院選挙で態勢を整えれば、あとは「気呵成(いきかせい)に事が運ばれるに違いない。

公明党は「庶民の党」をやめたのか

小池氏、年金財源案攻撃に反論

日本共産党の小池晃書記局長は13日、東京・蒲田駅前での街頭演説で、党が提案している「減らない年金」のための財源案に対し、公明党が同日付の公明新聞で「共産、まやかしの年金財源案」と攻撃していることについて反論しました。

共産党は、年金を減らし続ける「マクロ経済スライド」を廃止

し、「減らない年金」に転換するための財源的な手当てとして、①高所得者優遇の保険料を戻し、②兆円規模で年金財政の収入を増やす③巨額の年金積立金を年金給付のために計画的に取り崩す④歳上と正社員化を進めて保険料収入を増やす」を提案しています。

公明新聞は、①の高所得者への負担につ

いて、「その財源は国民年金には使えない」としています。小池氏は、厚生年金・共済年金勘定から基礎年金勘定に毎年約10兆円拠出されていると述べ、「基礎年金のために使えないというのは事実無根。そこまでしてお金を持ちを守りたいのか。いつから『庶民の党』をやめたのか」と痛烈に指摘しました。

▲「しんぶん赤旗」7月14日より

「全国商工新聞」7月15日より

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

甲良民報

2019年7月20日 764号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242